

令和7年度 診療情報管理科 2年

教育課程表

授業計画

学校法人 実教学園

F  **C** フチガミ医療福祉専門学校

診療情報管理科 2年

令和7年度

科目名	担当	時間数	単位数
臨床医学各論Ⅰ(感染症・寄生虫)	八尋	20	1
臨床医学各論Ⅱ(新生物)	田村	20	1
臨床医学各論Ⅲ(血液代謝内分泌)	吉住	20	1
臨床医学各論Ⅳ(脳神経感覚器・精神)	西村	20	1
臨床医学各論Ⅴ(呼吸・循環器)	八尋	20	1
臨床医学各論Ⅵ(消化器／泌尿器系)	福泉	20	1
臨床医学各論Ⅶ(周産期系)	蓮尾	20	1
臨床医学各論Ⅷ(皮膚・筋骨格系)	日高	20	1
診療情報管理Ⅰ(法令・諸規則)	伊藤(正)	20	1
保健医療情報学	伊藤(正)	30	2
医療管理各論Ⅲ(医療安全・医療の質管理)	伊藤(正)	20	1
国際統計分類Ⅰ	折岡	20	1
国際統計分類Ⅱ	皆元	30	2
医療統計Ⅰ(統計理論)	吉野	20	1
オフィスワーキングⅡ(A/B)	山田	60	4(2/2)
患者接遇(A/B)	田中	60	4(2/2)
エクセルVBA	井上	30	2
ITパスポート(A/B)	玉浦	120	8(4/4)
学会発表Ⅰ	小原	60	2
ペン字	浦川	30	2
医療保険事務Ⅱ(財団対策含む)	清塘	120	4
データベース(A/B)	松浦	60	4(2/2)
エクセルⅡ	松浦	30	2
プレゼンテーション	松浦	30	2
医療事務コンピュータ(A/B)	樋口	60	4(2/2)
電子カルテシステム	樋口	16	1
病院実習前後指導	片山	30	1
キャリア教育Ⅱ	宮本	30	2
就職指導	肥後	16	1
ホームルーム(HR)	宮本		
合計		1052	59

科目名	臨床医学各論I -感染症・寄生虫	担当者	八尋 英二	クラス	期別
				IM	2年 前期

1. 教育目標

医療に関わる診療情報管理士にとって重要なカルテ管理や診療情報分析に必要な感染症・寄生虫症の知識を獲得する。

2. 授業内容

指定されたテキストを用いて、感染症学の総論と各論を概説する。
実際に臨床で経験した症例などを踏まえてより詳細に解説する。
講義方法は、基本的には教科書に沿って疾患を概説していきながら双方向性講義を実施する。
Slideを使用し視覚的方法も実施する。知識確認のため毎回Mini-Testを実施する。

3. 授業計画

1	総論、腸管感染症
2	結核、人畜共通細菌性疾患、その他の細菌性疾患
3	主として性的伝播様式をとる感染症、その他のスピロヘータ疾患
4	クラミジアによるその他の疾患、リケッチア症、中枢神経系のウイルス感染症
5	節足動物媒介ウイルス熱およびウイルス性出血熱、皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症
6	ウイルス性肝炎、ヒト免疫不全ウイルス<HIV>病
7	その他のウイルス疾患、真菌症
8	原虫疾患、ぜん<蠕>虫症
9	シラミ症、ダニ症およびその他の動物寄生虫、感染症および寄生虫の続発・後遺症
10	細菌、ウイルスおよびその他の病原体、その他の感染症

4. 評価方法

筆記試験：MCQ (Multiple Choice Question) 方式にて学期末に実施 (70%)
Mini-Test：前講義の知識獲得状況を毎回実施予定 (20%)
授業／出席態度：双方向性授業による発言や授業態度（睡眠、私語）なども考慮 (10%)

5. テキスト及び参考書

療情報管理I-基礎・医学編 第8版

6. 実務経験の有無

あり（経歴：福岡大学病院循環器内科医として診療と教育、日本内科学会総合内科専門医及び日本循環器学会専門医）

7. その他

授業計画は、進み具合で前後する可能性あり。

科目名	臨床医学各論II (新生物)	担当者	田村 真吾	クラス	期別
				2IM	前期

1. 教育目標

医療関係者として仕事をしていくにあたり、必要となる新生物（がん、腫瘍）についての知識をもち、活用できるようにすること。

2. 授業内容

指定のテキストに添って、臓器別に進行する。授業にはパワーポイントを用い、テキスト内容を具体的な症例の診断、治療の実際をまじえながら解説する。

また、がんの検査・診断・治療に関する最近の話題についてもふれる。

3. 授業計画

1	新生物とは（総論）、頭頸部がん（口腔および咽頭の悪性腫瘍）
2	頭頸部がんつづき、消化管がん（食道がん、胃がん）
3	消化管がん（大腸がんほか）、分子標的薬
4	肝胆膵がん（肝臓がん、胆道がん、膵臓がん）
5	呼吸器がん（喉頭がん、肺がん）
6	皮膚がん、骨軟部腫瘍、乳がん、前立腺がん
7	婦人科がん（子宮がん、卵巣がん）、泌尿器がん（腎臓がん、膀胱がん）、脳腫瘍
8	血液がん
9	良性腫瘍ほか（それまでの講義の補遺）
10	筆記試験の解説
11	
12	
13	
14	
15	

4. 評価方法

筆記試験（マルチプルチョイス形式＋一部記述） 70%

出席状況 30%

5. テキスト及び参考書

診療情報管理I 基礎・医学編 第8版

6. 実務経験の有無

■ あり（資格：医師、経歴：九州大学病院、九州医療センターなどで約15年）

7. その他

科目名	診療情報管理 臨床医学各論 血液・代謝・内分泌	担当者	吉住秀之	クラス	期別
				2IM	前期

1. 教育目標

血液疾患、代謝・内分泌疾患の主要疾患についての病態、診断、治療についての基礎的理解を修得する。

2. 授業内容

診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 基礎・医学編第8版に準拠して進める。

パワーポイントで、作成したスライドを供覧して授業を行う。

質問は授業時間内に随時受け付ける。

3. 授業計画

1	血液疾患総論
2	栄養性貧血
3	溶血性貧血・無形成性貧血及びその他の貧血
4	凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態、血液及び造血器のその他の疾患
5	免疫機構の障害
6	内分泌代謝疾患総論
7	下垂体・甲状腺疾患
8	副甲状腺・副腎疾患
9	糖尿病・膵内分泌疾患
10	栄養および代謝障害
	1回90分計10回

4. 評価方法

出席状況と多肢選択方式による筆記試験にて行う。

5. テキスト及び参考書

『診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 基礎・医学編第8版』、日本病院会

6. 実務経験の有無

■ あり (経歴 : 独立行政法人国立病院機構都城医療センター院長として勤務し、糖尿病内分泌外来を担当。日本内科学会認定専門医、日本糖尿病学会専門医及び指導医)

7. その他

科目名	感覚器	担当者	西村 茂	クラス	期別
				2IM	前期

1. 教育目標

臨床医学、脳神経・感覚器系の範囲において、診療情報管理士認定試験に合格する程度の能力を習得することを第一の目標とし、また、将来、診療情報管理士の職務に従事したときに、実践の場において必要な素養にも触れることを目標とする。

2. 授業内容

座学：診療情報管理士テキストの中の脳神経・感覚器に関する記述に従い、その内容を習得できるように、スライドを用いながら、講義を行う。

3. 授業計画

1	<p>神経系の疾患</p> <p>神経系の基礎知識：解剖の基本的事項、主な症状、診察・診断法、主な検査等</p> <p>中枢神経系の炎症性疾患：急性化膿性髄膜炎、脳膿瘍</p> <p>主に中枢神経を障害する系統萎縮症：ハンチントン（舞踏）病、筋委縮性側索硬化症</p> <p>錐体外路障害および異常行動：パーキンソン病</p> <p>神経系のその他の変性疾患：アルツハイマー病</p> <p>挿間性および発作性障害：てんかん、てんかん重積</p> <p>神経、神経根、および叢の障害：三叉神経痛、ベル麻痺、手根管症候群</p> <p>多発性ニューロパチーおよびその他の末梢性神経系の障害： シャルコー・マリー・トゥース病、ギランバレー症候群</p> <p>神経筋接合部および筋の疾患： 重症筋無力症、進行性筋ジストロフィー、デュシェンヌ型筋ジストロフィー</p> <p>脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群：脳性（小児）麻痺</p> <p>神経系のその他の障害：水頭症（交通性水頭症、閉塞性水頭症、正常圧水頭症）</p>
2	<p>眼および付属器の疾患</p> <p>眼瞼、涙器および眼窩の障害：麦粒腫及び霰粒腫</p> <p>結膜の障害：結膜炎（感染性結膜炎、アレルギー性結膜炎、その他の結膜炎）</p> <p>水晶体の障害：老人性白内障</p> <p>脈絡膜および網膜の障害：裂孔原性網膜剥離</p> <p>緑内障：原発開放隅角緑内障、原発閉塞隅角緑内障、先天性緑内障、続発緑内障</p> <p>硝子体の障害：硝子体脱出、硝子体出血、硝子体内結晶沈着および混濁、その他</p> <p>眼球の障害：化膿性眼内炎、交感性眼炎</p> <p>視神経および視覚路の障害：視神経炎、虚血性視神経症、乳頭浮腫、視神経萎縮</p> <p>眼筋、眼球運動、調節および屈折の障害： 麻痺性斜視、先天性内斜視、調節性内斜視、間欠性外斜視、偽斜視</p>

3 耳および乳様突起の疾患

外耳疾患：外耳炎

中耳および乳様突起の疾患：化膿性中耳炎、非化膿性中耳炎、中耳真珠腫

内耳疾患：耳硬化症、メニエール病、良性発作性眩暈症

耳のその他の障害：突発性難聴

4. 評価方法 筆記試験：7割、平常点：3割

5. テキスト及び参考書

日本病院会 診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 基礎・医学編第8版

6. 実務経験の有無： 有り 資格： 医師／ 脳神経外科医師 51年

7. その他

科目名	臨床医学各論Ⅴ -循環器・呼吸器疾患	担当者	八尋 英二	クラス	期別
				IM	2年 後期

1. 教育目標

医療に関わる診療情報管理士にとって重要なカルテ管理や診療情報分析に必要な循環器疾患と呼吸器疾患の知識を獲得する。

2. 授業内容

指定されたテキストを用いて、総論と各論を概説する。
 実際に臨床で経験した症例なども踏まえて解説する。
 講義方法は、基本的には教科書に沿って疾患を概説していきながら双方向性講義を実施する。
 Slideを使用しながら視覚的方法も実施する。知識確認のために基本的には毎回Mini-Testを実施する。

3. 授業計画

1	循環器総論、急性リウマチ熱、慢性リウマチ性心疾患
2	循環器系の先天性奇形、高血圧性心疾患、循環器系のその他及び詳細不明の障害
3	虚血性心疾患
4	肺性心疾患及び肺循環疾患
5	その他の型の心疾患、脳血管疾患
6	動脈、細動脈及び毛細血管の疾患、静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの
7	急性上気道感染症、インフルエンザ及び肺炎、その他の急性下気道感染症
8	上気道のその他の疾患、慢性下気道疾患、外的因子による肺疾患
9	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患、下気道の化膿性及び壊死性病態
10	胸膜のその他の疾患、呼吸器系のその他の疾患

4. 評価方法

筆記試験：MCQ (Multiple Choice Question) 方式にて学期末に実施 (70%)

Mini-Test：前講義の知識獲得状況を毎回実施予定 (20%)

授業／出席態度：双方向性授業による発言や授業態度（睡眠、私語）などを考慮 (10%)

5. テキスト及び参考書

療情報管理I-基礎・医学編 第8版

6. 実務経験の有無

あり（経歴：福岡大学病院循環器内科医として診療と教育、日本内科学会総合内科専門医及び日本循環器学会専門医）

7. その他

授業計画は、進み具合で前後する可能性あり。

科目名	臨床医学各論VI (消化器/泌尿器系)	担当者	福泉 公仁隆	クラス	期別
				2IM	後期

1. 教育目標

消化器/泌尿器系疾患について教科書の内容に沿って疾患の概要について理解すること

2. 授業内容

教科書の内容に沿って、スライド資料を作成し、パワーポイントを用いて講義を行う。

消化器/泌尿器系、生殖器系の良性疾患を中心に講義を行う。

講義毎に確認小テストを実施する。

3. 授業計画

1	ICD-10 第XI章 K00-K22	消化管：口腔、食道
2	ICD-10 第XI章 K25-K44	消化管：胃、十二指腸、虫垂、ヘルニア
3	ICD-10 第XI章 K50-K55	消化管：小腸、大腸 非感染性腸炎、大腸炎
4	ICD-10 第XI章 K56-K65	消化管：大腸、肛門、腹膜 腸のその他の疾患
5	ICD-10 第XI章 K70-K77	肝疾患
6	ICD-10 第XI章 K74-K83	肝臓、胆道
7	ICD-10 第XIV章 K85-93 N00-N19	膵臓、腎臓
8	ICD-10 第XIV章 N20-N39	腎臓
9	ICD-10 第XIV章 N40-N45, N60-N64 N70-N77, N80-N98	尿路、生殖器、乳房
10	試験問題解説	

4. 評価方法

平常点（出席点、授業態度等）及び試験による評価

5. テキスト及び参考書

診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 基礎・医学編第8版 臨床医学各論VI（消化器/泌尿器系）

6. 実務経験の有無

あり（経歴：職種 医師 1988年医師免許取得、総合内科専門医、
消化器病専門医・指導医。肝臓専門医、
2000年4月～現在、独立行政法人国立病院機構九州医療センター
消化器内科、医療情報管理センター 勤務）

7. その他

科目名	臨床医学各論 (周産期)	担当者	蓮尾 泰之	クラス	期別
				2IM	後期

1. 教育目標

周産期医学、診断と処置を理解する

2. 授業内容

講義方式

3. 授業計画

1	正常妊娠 妊娠悪阻
2	異所性妊娠
3	胎状奇胎 流産 周産期影響を及ぼす感染症
4	妊娠高血圧症候群
5	多胎妊娠 胎位異常 児頭骨盤不適合骨盤不均衡
6	羊水過多症 羊水過少症 前期破水 前置胎盤
7	常位胎盤早期剥離 過期妊娠 早産 微弱陣痛
8	遷延分娩 分娩における陰裂傷、その他の外傷
9	弛緩出血 産褥敗血症 羊水塞栓症 低出生体重児 新生児仮死 新生児呼吸窮迫症
10	試験

4. 評価方法

試験

5. テキスト及び参考書

診療情報1

6. 実務経験の有無

あり (経歴 :)

7. その他

科目名	臨床医学各論Ⅷ (皮膚・筋骨格系)	担当者	日高 滋紀	クラス	期別
				21M	前期

1. 教育目標

皮膚および皮下組織の疾患と、筋骨格系および結合組織の疾患について、理解を深めることによって、それらの疾患に関する医療情報を得られる力をつけ、今後の診療情報管理士としての自覚を育成する。

2. 授業内容

具体的には授業計画に記載するが、なるべく臨床的な疾患が実感できるように具体的な事例も含めて、説明すると同時に、その分野の疾患の概略が理解できるようにする。

3. 授業計画

1	ICD-10第Ⅻ章 皮膚・皮下組織 総論	P735~740
2	ICD-10第Ⅻ章 皮膚・皮下組織 1. 感染症～4. 丘疹	P740~750
3	ICD-10第Ⅻ章 皮膚・皮下組織 5. 蕁麻疹～7. 皮膚付属器	P750~P755
4	ICD-10第Ⅻ章 皮膚・皮下組織 8. 皮膚・皮下～9. 悪性新生物	P756～
5	ICD-10第ⅩⅢ章 筋骨格系・結合組織 1. 関節障害	P769~P775
6	ICD-10第ⅩⅢ章 筋骨格系・結合組織 2. 全身性結合組織障害	P776~P787
7	ICD-10第ⅩⅢ章 筋骨格系・結合組織 3. 変性性脊椎障害	P787~P798
8	ICD-10第ⅩⅢ章 筋骨格系・結合組織 4. 軟部組織障害	P798~P806
9	ICD-10第ⅩⅢ章 筋骨格系・結合組織 5. 骨・軟骨障害	P806~P810
10	単元のまとめ	

4. 評価方法

出席状況、授業中の態度など . . . 30%
 期末テスト . . . 70%

5. テキスト及び参考書

診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ 基礎・医学

6. 実務経験の有無

あり (経歴 : 医療系専門学校 (リハ関係)、看護学校など多数年)

7. その他

科目名	診療情報管理 I (法令・諸規則)	担当者	伊藤 正巳	クラス	期別
				2IM	2年 前期

1. 教育目標

医療機関における診療の記録は医師記載の診療録だけでなく様々な診療に関する情報が記録されている。その診療記録に関する法令及び諸規則の理解を深め、診療情報管理士が把握すべき事項を学習する。

2. 授業内容

授業進行に使用するパワーポイント資料及び補足資料の配布
診療情報管理士教育問題集による理解度の確認

3. 授業計画

1	診療情報管理の意義と役割
2	診療情報管理の歴史
3	診療記録の記載と保存についての法規定、診療記録の電子化に関する法規
4	診療記録の提示に関する法規、医療事故にともなう法的責任
5	個人情報の保護に関する法律
6	個人情報保護法と厚生労働省のガイダンスに基づく病院の対応
7	診療情報の提供等に関する指針
8	診療記録の記載方式 (POS, クリニカルパス)
9	診療情報の記載① (診療記録の記載方法、診療録の基本的な記載事項)
10	診療情報の記載② (診療記録の種類)
11	
12	
13	
14	
15	

4. 評価方法

期末試験結果 (70%)
出席状況、授業態度、小テスト等 (30%)

5. テキスト及び参考書

日本病院会
診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 8章 診療情報管理 I

6. 実務経験の有無

あり (資格・職種 : 診療情報管理士として病院勤務)

7. その他

特になし

科目名	保健医療情報学	担当者	伊藤 正巳	クラス	期別
				2IM	2年 前期

1. 教育目標

医療情報構築の基礎知識、医療情報の特徴、行政が行う医療情報化政策、医療機関で利用される「病院情報システム」と医療機能連携を指示する「地域医療情報システム」の機能を理解し、蓄積された医療情報の取り扱い方、活用方法、情報セキュリティを学習する。

2. 授業内容

授業進行に使用するパワーポイント資料及び補足資料の配布
診療情報管理士教育問題集による理解度の確認

3. 授業計画

1	保健医療情報学とは
2	診療情報の特徴と種類①（医療情報と診療情報）
3	医療情報の特徴と種類②（診療情報の一次利用と二次利用）
4	行政が進める保健医療の情報化政策
5	医療情報システム①（システム概論、部門システム）
6	医療情報システム②（オーダーエントリーシステム、電子カルテシステム）
7	医療情報システム③（地域医療情報システム）
8	診療情報の二次利用①（DWH、医療ビッグデータ、治験）
9	診療情報の二次利用②（次世代医療基盤法の成立、診療情報管理士の役割）
10	個人が管理する保健医療記録（HER, PHR）
11	医療情報の標準化①（標準化の枠組み、医療情報の伝達・交換のための標準化）
12	医療情報の標準化②（ICD10 対応標準病名マスター、保健医療情報分野の標準規格）
13	情報セキュリティ
14	保健医療の情報化のこれから、医学系研究に関する倫理指針
15	試験解答及び解説

4. 評価方法

期末試験結果（70%）
出席状況、授業態度、小テスト等（30%）

5. テキスト及び参考書

日本病院会
診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 5章 保健医療情報学

6. 実務経験の有無

あり （ 資格・職種 : 診療情報管理士として病院勤務 ）

7. その他

特になし

科目名	医療管理各論Ⅲ (医療安全・医療の質管理)	担当者	伊藤 正巳	クラス	期別
				2IM	1年 後期

1. 教育目標

近年、医療安全管理が益々重要視されている。診療録は診療の根拠であるため、医療安全、知識を学習することは重要である。また、医療の質への向上が求められるようになり、診療情報管理士に求められる要求は増えてきている。質の高い診療情報を提供出来るようになるには、病院情報システム内に蓄積されたデータの種類を理解することを目的とする。

2. 授業内容

授業進行に使用するパワーポイント資料及び補足資料の配布
診療情報管理士教育問題集による理解度の確認

3. 授業計画

1	安全管理① (医療安全概論)
2	安全管理② (医療におけるリスクマネジメント)
3	安全管理③ (ヒューマンエラー)
4	安全管理④ (医療事故と医療過誤、医事紛争)
5	医療の質管理① (医療の質と保証)
6	医療の質管理② (チーム医療における診療情報共有)
7	医療の質管理③ (医療の質マネジメントシステム、医療の質の評価と公表)
8	診療情報管理における診療報酬請求データの活用① (医療マーケティング)
9	診療情報管理における診療報酬請求データの活用② (データの活用)
10	診療情報管理における診療報酬請求データの活用③ (各種システムデータ)
11	
12	
13	
14	
15	

4. 評価方法

期末試験結果 (70%)
出席状況、授業態度、小テスト等 (30%)

5. テキスト及び参考書

日本病院会
診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 4章 医療管理各論Ⅲ

6. 実務経験の有無

あり (資格・職種 : 診療情報管理士として病院勤務)

7. その他

特になし

科目名	国際統計分類 I	担当者	折岡 健太郎	クラス	期別
				2IM	前期

1. 教育目標

国際疾病分類の歴史、使用方法について理解し、診療情報管理の基礎となる疾病分類とその意義を学ぶ。

2. 授業内容

教科書を中心に授業を進め、必要に応じてディスカッションを行う。

3. 授業計画

1	国際疾病分類論
2	国際疾病分類論
3	国際疾病分類論 国際疾病分類 (ICD) の歴史・現状・構造
4	国際疾病分類論 国際疾病分類 (ICD) の歴史・現状・構造
5	国際統計分類ファミリー論
6	国際統計分類ファミリー論
7	国際統計分類ファミリー論
8	原死因ルール (一般原則まで)
9	原死因ルール 主要病態のコーディングと再選択 ICDを用いるうえでの注意点
10	原死因ルール 主要病態のコーディングと再選択 ICDを用いるうえでの注意点 総括

4. 評価方法

受講姿勢、出席状況、筆記試験により総合的評価

5. テキスト及び参考書

教科書 (診療情報管理Ⅲ)

ICD10第1巻～第3巻

スライド

6. 実務経験の有無

あり (経歴 : 診療情報管理士として病院勤務)

医療情報学修士課程修了

診療情報管理士指導者認定

医療情報技師認定

院内がん登録実務者中級認定

7. その他

科目名	国際統計分類Ⅱ	担当者	皆元 麻里加	クラス	期別
				2IM	後期

1. 教育目標

- ・国際疾病分類（ICD）の概要を理解し、索引表や内容例示の正しい利用方法を理解する。
- ・診療情報管理Ⅰ基礎、医学編で学んだ知識を活かし、個々の疾病の病態や特徴を理解し、退院時要約や死亡診断書における正確なコーディングについて理解する。

2. 授業内容

- ・国際疾病分類（ICD）の概要を学び、索引表や内容例示の使用方法を学ぶ。
- ・国際疾病分類（ICD）の各章に沿った分類体系やその特徴、留意事項について学び、傷病名や原死因コーディングについて学ぶ。

3. 授業計画

1	国際疾病分類の基本(1)
2	国際疾病分類の基本(2)
3	各章の疾病分類体系の理解（第1章：感染症、第3章：血液）、退院時要約演習
4	各章の疾病分類体系の理解（第2章：新生物）、退院時要約演習
5	各章の疾病分類体系の理解（第4章：内分泌、第5章：精神、第6章：神経）、退院時要約演習
6	各章の疾病分類体系の理解（第7章：眼、第8章：耳、第9章：循環器）、退院時要約演習
7	各章の疾病分類体系の理解（第10章：呼吸器、第11章：消化器）、退院時要約演習
8	各章の疾病分類体系の理解（第12章：皮膚、第13章：筋骨格、第14章：腎尿路生殖器）、退院時要約演習
9	各章の疾病分類体系の理解（第15章：妊娠・分娩・産褥）、退院時要約演習
10	各章の疾病分類体系の理解（第16章：周産期に発生した病態）、退院時要約演習
11	各章の疾病分類体系の理解（第17章：先天奇形、第18章：症状・徴候・異常検査所見、第21章：保健サービスの利用）、退院時要約演習
12	各章の疾病分類体系の理解（第19章：損傷・中毒、第20章：傷病及び死亡の外因）、退院時要約演習
13	原死因演習（1）
14	原死因演習（2）
15	試験解説

4. 評価方法

試験70%、授業態度および出席状況15%、提出物15%

5. テキスト及び参考書

- (1) テキスト：診療情報管理Ⅲ 専門課程編 12章
- (2) 疾病、傷害および死因統計分類提要、ICD-10（2013年版）：第1巻(内容例示表)、第3巻(索引表)

6. 実務経験の有無

あり（経歴：診療情報管理士として病院勤務）

7. その他

- (1) テキストを中心に学習するが、不足分については資料を準備する。

科目名	医療統計Ⅰ (統計理論)	担当者	吉野 博	クラス	期別
				2IM	2年後期

1. 教育目標

診療情報を適切に管理、活用するための基礎として統計処理の知識、根拠に基づいた医療、データ処理の実際を学び、診療情報管理士に求められる診療情報のクオリティマネジメント考え方を身に付けことを目的とする。

2. 授業内容

統計理論を説明し、統計的方法を理解するために電卓を用いて例題を解く。

3. 授業計画

1	医療統計学の基本的用語
2	記述統計（データの要約、作業手順、記述統計量）
3	確率と確率分布
4	正規分布（正規分布の性質、標準正規分布）
5	相関（相関係数、相関分析、回帰分析）
6	推測統計（用語、母集団と標本）
7	推定（点推定と区間推定）
8	仮説検定（有意差検定、検定の手順、帰無仮説と対立仮説） (有意水準、検定統計量、検定統計量、P値)
9	医学でよく使う仮説検定（平均の差の検定、割合の差の検定）

4. 評価方法

期末試験 70%
小テスト 15%
平常点数 15%

5. テキスト及び参考書

診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ

6. 実務経験の有無：有

実務経歴：病院勤務（47年）、診療情報管理室・病院管理者等

7. その他

資格：診療情報管理士指導者、医療情報技師

科目名	オフィスワーキングⅡ	担当者	山田智美子	クラス	期別
				2MS・2IM	25/前

1. 教育目標

- ①秘書検定/準1級・2級合格。実務士合格
- ②感じ良く挨拶し、他者とコミュニケーションできる
- ③働くということを意識し、学ぶ力とする

2. 授業内容

- ・授業形態：グループワーク、および演習と講義
- ・小テストを実施し、習熟度を測る

3. 授業計画

1	オリエンテーション・1年次復習と確認（現状把握）
2	秘書検定/準1級対策/筆記① 説明・申し込み・面接試験/概要説明（6月照準）
3	秘書検定/準1級対策/筆記②
4	秘書検定/準1級対策/筆記③
5	秘書検定/準1級対策/筆記④
6	秘書検定/準1級対策/筆記⑤
7	秘書検定/準1級対策/筆記⑥
8	秘書検定/準1級対策/筆記⑦ →検定（筆記）
9	秘書検定/準1級+実務士/面接対策①
10	秘書検定/準1級+実務士/面接対策②
11	秘書検定/準1級+実務士/面接対策③
12	ビジネスシミュレーション
13	秘書検定/準1級+実務士面接対策④
14	秘書検定/準1級+実務士面接対策⑤ →検定（面接） 前期/まとめ
15	答案返却/解答・解説

4. 評価方法

- ①定期試験（筆記および実技） 70%
- ②出席・授業への取組み 30%

5. テキスト及び参考書

- ・秘書検定 集中講義2級・準1級 【財団法人 実務技能検定協会監修/早稲田出版】
- ・秘書検定 問題集 【財団法人 実務技能検定協会監修/早稲田出版】

6. 実務経験の有無

あり （ 経歴 : 企業/受付・総務・営業事務 ）

7. その他

科目名	オフィスワーキングⅡ	担当者	山田智美子	クラス	期別
				2MS・2IM	25/後

1. 教育目標

- ①コミュニケーションしながら他者を受け入れ、心くばりできる
- ②受付・電話対応がスムーズにできる。感じよく話ができる（声・言葉遣い・表情）
- ③働く場면을イメージし行動できる

2. 授業内容

- ・授業形態：グループワーク、および演習と講義
- ・ロールプレイングを実施し、習熟度を測る

3. 授業計画

1	前期おさらい・実務技能士/対策①
2	実務技能士/対策②
3	ビジネスシミュレーション/受付①
4	ビジネスシミュレーション/受付②
5	ビジネスシミュレーション/受付③
6	ビジネスシミュレーション/受付④
7	ビジネスシミュレーション/受付⑤
8	敬語
9	ビジネスシミュレーション/電話①
10	ビジネスシミュレーション/電話②
11	ビジネスシミュレーション/電話③
12	ビジネスシミュレーション/電話④
13	ビジネスシミュレーション/電話⑤
14	後期/まとめ
15	答案返却/解答・解説

4. 評価方法

- ①定期試験（筆記） 70%
- ②出席・授業への取組みほか 30%

5. テキスト及び参考書

- ・秘書検定 集中講義準1級【財団法人 実務技能検定協会監修/早稲田出版】
- ・その他、参考資料

6. 実務経験の有無

- あり （ 経歴 : 企業/受付・総務・営業事務 ）

7. その他

科目名	患者接遇	担当者	田中 恵子	クラス	期別
				2IM	2025年通期

1. 教育目標

- ・接遇マナーの重要性を理解し、習得する。 ・コミュニケーション力をつける。
- ・医療従事者として患者さまの立場に立った応対を理解し、実践できる。

2. 授業内容

- ・講義、演習、グループワーク

3. 授業計画

1	オリエンテーション ・スピーチスキルの向上（他者紹介）	16	オリエンテーション ・どんな診療情報管理士を目指すか
2	医療従事者の心構え／病院組織／接遇とコミュニケーション	17	コミュニケーションとは 傾聴・受容・共感の重要性
3	印象構成と第一印象の大切さ ・挨拶の重要性と笑顔の効能	18	伝わる話し方
4	医療における身だしなみ・態度・身のこなし	19	患者満足とクレーム対応
5	医療における言葉遣い①②	20	クレーム対応（ケーススタディ）
6	医療における話し方スキルアップ	21	自我状態の分析 コミュニケーションスキルアップ
7	5つのホスピタリティマインド 高齢者・障がい者接遇を考える	22	指示受けと報・連・相の復習 指示受けと報告の演習
8	患者応対の基本①（受付応対）	23	患者応対の応用①（対面での問い合わせ）
9	患者応対の基本②（さまざまな応対）	24	コミュニケーションスキルアップ （レポートの討議と発表・提出）
10	患者応対の基本③（会計）	25	患者応対の応用②（電話での問い合わせ）
11	電話応対（基本）①	26	患者応対の応用③（電話での問い合わせ）
12	電話応対（基本）②伝言メモ作成	27	病院実習事前電話演習と内線電話
13	期末実技試験演習	28	期末実技試験演習
14	期末実技試験	29	期末実技試験
15	期末筆記試験説明	30	期末筆記試験説明

4. 評価方法

期末試験：70%（①筆記70点 ②実技30点 計100点）

平常点：30%（欠課・遅刻時数、授業態度、レポート、積極性）

5. テキスト及び参考書

オリジナルプリント

6. 実務経験の有無

- 資格：秘書検定1級・ビジネス文書検定1級・サービス接遇研修1級・交流分析士1級
産業カウンセラー・認知症ケア指導管理士・ユニバーサルマナー検定1級
- 職種：院長秘書として病院勤務／部長秘書、広報課、営業課として企業勤務

7. その他

授業中の携帯電話は厳禁（必ず鞆の中に入れておくこと。目視した場合は没収）

科目名	Excel VBA I	担当者	井上 伸明	クラス	期別
				2IM	後期

1. 教育目標

VBA(Visual Basic for Application)の機能を利用し、より使いやすいソフトを開発するためのプログラミング手法を学習する。VBAを学習することによってExcelでアプリケーションを作成でき、より高度な使用が可能になる。この演習では、シートおよびセルにおける基本操作をVBAで作成できるようになることを目標としている。

2. 授業内容

マクロの基本操作から VBA まで広範囲にわたった演習になるため、Excel 操作の基本を修得している前提で授業を進める。福祉、医療現場で即戦力となるプログラミング技術の修得を目指すため、できるだけ現場に即した課題の中でコーディングを理解できるよう進めていく。

3. 授業計画

1	Excel のマクロと VBA の基本説明
2	マクロの作成と実行方法
3	VBA プログラミングの組み立て方
4	変数の考え方と使用方法
5	If ～Then ステートメントの使用方法
6	Select～Case ステートメントの使用方法
7	For～Next ステートメントの使用方法
8	Do～Loop ステートメントの使用方法
9	総合演習(If～Then , Select～Case)
10	総合演習(For～Next , Do～Loop)
11	プロシージャと VBA 関数
12	日付と時刻の操作
13	文字列の操作
14	定期試験の模擬テスト
15	定期試験

4. 評価方法

課題プログラム(前期試験)によって評価する。

留意事項：授業に対する姿勢も考慮する。

5. テキスト及び参考書

医療・福祉分野における情報管理者のための

ExcelVBA プログラミング F・Cフチガミ医療福祉専門学校出版 2,420円(税込)

6. 実務経験の有無

あり (経歴 : 大学・専門学校の学園業務システム等の構築)

7. その他

Excelに限らずOffice統合ソフト(Word Excel PowerPoint Access)のビジネス利用は相当なシェアになっています。福祉、医療現場においても例外ではありません。これは、それぞれのソフト間のデータ連携が非常にスムーズに行われることが大きな要因の一つになっています。

この演習ではソフト間の連携までは進めませんが、実務において利用できるExcelプログラミング技術を修得してもらえるような学習内容となっています。

科目名	ITパスポート	担当者	玉浦 那代	クラス	期別
				IM	2年 前期

1. 教育目標

- ITパスポートと通じて、情報および社会人としての基礎知識を身につけ、ITを利活用できる力を養う。
- 就職活動が有利になるよう、ITパスポートの取得を目指す。

2. 授業内容

- 経営戦略やシステム戦略、法務など、企業を運営する上で必要な知識
- システム開発の流れや開発の手法、プロジェクトマネジメントなど、システム開発を行う上で必要な知識

3. 授業計画

1	オリエンテーション、ITパスポート試験の概要
2	企業法務①
3	企業法務②
4	経営戦略①
5	経営戦略②
6	システム戦略①
7	システム戦略②
8	開発技術①
9	開発技術②
10	プロジェクトマネジメント①
11	プロジェクトマネジメント②
12	サービスマネジメント①
13	サービスマネジメント②
14	定期試験について
15	定期試験【解答】

4. 評価方法

- 成績…………… 60%
- 出席状況…… 20%
- 提出物………… 20%

5. テキスト及び参考書

- ITパスポートをひとつひとつわかりやすく。(Gakken)

6. 実務経験の有無

あり (経歴 :)

7. その他

科目名	学会発表 I	担当者	小原 仁	クラス	期別
				2IM	後期 (30)

1. 教育目標

実務社会での実践を想定した課題解決に関する知識と技術を養う。

2. 授業内容

少人数グループにより、診療情報管理領域に関連するテーマを選び、資料収集、課題抽出、研究計画の立案と実行、結果の分析、考察、プレゼンテーションといった一連の過程を実践する。なお本授業成果については、日本診療情報管理学会学術大会での口頭発表を目指す。
※学会発表 I では、授業内容の前半部分を担当する。

3. 授業計画

1-2	・導入（課題解決能力と研究発表の関係）、少人数グループの編成
3-4	・診療情報管理に関する既存研究の調査と整理、研究テーマの検討
5-6	・研究テーマの選定（成果物発表①）
7-8	・研究テーマに関する資料収集、課題抽出
9-10	・研究計画の作成
11-12	・研究計画の発表（成果物発表②）
13-14	・研究計画の実行（補正）、グループ別進捗確認
15-16	・研究進捗の発表（成果物発表③）
17-18	・研究計画の実行（補正）、グループ別進捗確認
19-20	・研究計画の実行（補正）、グループ別進捗確認
21-22	・研究進捗の発表（成果物発表④）
23-24	・研究計画の実行（補正）、グループ別進捗確認
25-26	・研究計画の実行（補正）、グループ別進捗確認
27-28	・研究進捗の発表（成果物発表⑤）
29-30	・研究成果のまとめ（構造化抄録の作成）

4. 評価方法

出席状況、授業態度、成果物（構造化抄録）をもとに総合的に評価する。

5. テキスト及び参考書

- ・配布プリント
- ・使用機器等：パソコン（Excel・パワーポイント）・プロジェクターなど

6. 実務経験の有無

- あり（経歴：診療情報管理士として病院勤務経験：有）
- ・久留米大学 医学部 医療検査学科 准教授（医学・バイオ統計学博士）
 - ・診療情報管理士指導者 / 上級医療情報技師 / 医療経営管理学修士
 - ・日本診療情報管理学会 評議員

7. その他

研究実施に必要な知識や技能については、各グループの研究テーマや進捗に応じて、個別に支援を行う。

科目名	ペン字	担当者	浦川 優子	クラス	期別
				2IM	前期

1. 教育目標

- ・文字の基本を学習し、字形を整え、丁寧に体裁よく書くことができるようにする。
- ・ペン検3級の合格を目指す。
- ・場面に応じた筆記用具、書き方を使い分けできるようにする。

2. 授業内容

- ・楷書、行書、平仮名など文字の基本を学習し、練習する。
- ・履歴書の書き方なども練習し、仕上げる。
- ・ペン検3級の学習をする。
- ・筆ペンを使って、基本点画の練習をし、熨斗書きをする。

3. 授業計画

1	・硬筆書写検定の説明	・片仮名の練習	・平仮名の練習
2	・漢字楷書（基本、筆順、部首名）		・1（速書き）
3	・漢字行書（基本、筆順、部首名）		・1（速書き）
4	・検定問題2（漢字）	・9（草書を読む）	・1（速書き）
5	・検定問題3（縦書き）	・行書に合う平仮名の練習	・1（速書き）
6	・検定問題4（横書き）	・10（漢字の字体）	・1（速書き）
7	・検定問題5（宛名書き）	・数字の練習	・1（速書き）
8	・検定問題6（掲示）	・アルファベットの練習	・1（速書き）
9	・3級過去問題		
10	・3級過去問題		
11	・検定対策		
12	・履歴書の書き方	・名前、住所の練習	
13	・履歴書を書く		
14	・履歴書用封筒の書き方		
15	・期末テスト解説	・のし封筒の書き方	

4. 評価方法

- ・学期末試験

5. テキスト及び参考書

- ・3級合格のポイント

6. 実務経験の有無

あり（資格・職種：硬筆書写技能検定1級）

7. その他

科目名	医療保険事務Ⅱ	担当者	新島 幸子	クラス	期別
				2IM	前期

1. 教育目標

医療現場で業務を実践できるための知識を習得し、レセプト従事者の資質向上を図る目的で実施されている診療報酬請求事務能力試験に合格することを目指す。

2. 授業内容

検定試験対策

3. 授業計画

1	試験の概要等	16	解答解説	31	検定対策	46	検定対策
2	理解度確認	17	学科と外来	32	検定対策	47	検定対策
3	レセプト記載確認	18	解答解説	33	検定対策	48	検定対策
4	解答解説	19	入院	34	検定対策	49	検定対策
5	学科と外来	20	解答解説	35	検定対策	50	検定対策
6	解説解答	21	学科と外来	36	検定対策	51	検定対策
7	入院	22	解答解説	37	検定対策	52	検定対策
8	解説解答	23	入院	38	検定対策	53	検定対策
9	学科と外来	24	解答解説	39	検定対策	54	検定対策
10	解答解説	25	学科と外来	40	検定対策	55	検定対策
11	入院	26	解答解説	41	検定対策	56	検定対策
12	解答解説	27	入院	42	検定対策	57	検定対策
13	学科と外来	28	解答解説	43	検定対策	58	模擬試験②
14	解答解説	29	模擬試験①	44	検定対策	59	模擬試験②
15	入院	30	模擬試験①	45	検定対策	60	まとめ

4. 評価方法

授業態度・小テスト 30%

期末テスト 70%

5. テキスト及び参考書

診療点数早見表（医学通信社）、医療事務マスターブック（紙媒体）

受験対策と予想問題集（医学通信社）医療事務テキスト、電卓

医療保険事務点数早見表（株式会社メディカ・ジャパン）

6. 実務経験の有無

あり （ 経歴 : 医療機関で医療事務職員・保険者レセプト点検 ）

7. その他

特記なし

科目名	データベース I	担当者	松浦友美子	クラス	期別
				2IM	前期

1. 教育目標

- データベースの基本構造を理解する。
- 各オブジェクトの作成方法を習得する。
- Access ビジネスデータベース技能認定試験 3 級を取得する。

2. 授業内容

- データベースとは
- テーブル作成（テーブルの作成と入力補助）
- フォーム作成
- 抽出クエリ作成（演算子の使用）
- レポート作成
- 簡単なマクロで処理を自動化してみよう！

3. 授業計画

1	データベースとは データベースの基本構造	9	宛名ラベル作成
2	テーブル作成・並べ替え・抽出	10	パラメータクエリ・アクションクエリ
3	リレーションシップ フォーム作成	11	データベース作成 フォーム（フィールドプロパティの設定）
4	データ入力 コンボボックス・オプションボタン	12	集計クエリ（グループ化）
5	選択クエリ・抽出	13	練習問題 1
6	演算フィールド	14	練習問題 2
7	演算子と簡単な関数	15	期末試験
8	レポート作成		

4. 評価方法

試験 70%
平常点数 30%（小テスト、授業態度、出席状況）

5. テキスト及び参考書

ウィネット ACCESS2019 クイックマスター
サーティファイビジネスデータベース技能認定試験問題集

6. 実務経歴の有無

あり（インストラクターとして企業に勤務）

7. その他

科目名	データベース I	担当者	松浦友美子	クラス	期別
				2IM	後期

1. 教育目標

- データベースの設計と構築を学ぶ
- Access ビジネスデータベース技能認定試験 3 級取得

2. 授業内容

- データベースの設計と構築
- テーブルの作成。正規化とリレーションシップ
- クエリ（選択クエリ・アクションクエリ・パラメータクエリ）
- フォーム（サブフォームの追加）
- レポート（サブレポートの追加）

3. 授業計画

1	テーブルの活用	9	練習問題 3
2	リレーションシップと参照整合性	10	練習問題 4
3	フォームの活用	11	アクションクエリ（テーブル作成・削除）
4	クエリの活用	12	メインフォームとサブフォーム
5	演算子と関数	13	メイン・サブレポート
6	レポートの活用	14	復習問題
7	練習問題 1	15	期末試験
8	練習問題 2		

4. 評価方法

試験 70%
 平常点数 30%（小テスト、授業態度、出席状況）

5. テキスト及び参考書

Access ビジネスデータベース技能認定試験問題集

6. その他

科目名	EXCEL II	担当者	松浦友美子	クラス	期別
				2IM	前期

1. 教育目標

- 実務に必要な EXCEL の操作を身につける。
- 様々な関数を知る。
- コンピュータサービス技能評価試験表計算部門 2 級を取得する。

2. 授業内容

- 様々な関数
- データベース機能
- グラフ作成
- ピボットテーブル・ピボットグラフ

3. 授業計画

1	データ編集・図形作成・条件付き書式	9	ピボットテーブル・ピボットグラフ
2	罫線・列幅変更・文字書式	10	検定対策
3	並べ替え・抽出・集計	11	検定対策
4	文字列操作関数	12	検定対策
5	検索行列関数	13	検定対策
6	数学・統計関数	14	検定対策
7	日付・時刻関数	15	期末試験
8	複雑なグラフ作成・印刷設定		

4. 評価方法

試験 70%
 平常点数 30% (小テスト、授業態度、出席状況)

5. テキスト及び参考書

CS 技能評価試験 受験対策練習問題集 表計算部門 2 級

6. 実務経歴の有無

あり (インストラクターとして企業に勤務)

7. その他

科目名	PowerPoint	担当者	松浦友美子	クラス	期別
				2IM	前期

1. 教育目標

- プレゼンテーションソフトを用いて効果的なプレゼンテーション（情報の提示）、そしてそのための資料作成ができるようになる。

2. 授業内容

- プレゼンテーションの定義を知り、基本的な知識を身に付ける。
- PowerPointの基本操作を知る。
- 実際にプレゼンテーションを行い、準備の流れ、発表方法を学ぶ。

3. 授業計画

1	プレゼンテーションとは PowerPoint 基本操作	9	テーマのカスタマイズと既存データの活用
2	スライドの作成・編集 デザイン変更	10	SmartArt の利用
3	オブジェクトの作成	11	アニメーション効果
4	表やグラフの作成	12	総合練習問題
5	表示効果とハイパーリンク	13	練習問題（グループ別作成）
6	練習問題（個人別作成）	14	練習問題作成
7	練習問題提出	15	課題発表
8	PowerPoint 活用		

4. 評価方法

課題作成 70%
平常点数 30%（授業態度、出席状況）

5. テキスト及び参考書

ウィネット PowerPoint2019 クイックマスター

6. 実務経歴の有無

あり（インストラクターとして企業に勤務）

7. その他

科目名	医事コンピューター	担当者	樋口 智美	クラス	期別
				2IM	前期

1. 教育目標

医事コンピューターの基本的操作と理解、正確な入力
医療事務コンピューター2級合格のためのスキルを身に付ける。

2. 授業内容

<input checked="" type="checkbox"/> 講義・演習 <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト、及びレセプト作成 <input type="checkbox"/> グループワーク・ペアワーク <input type="checkbox"/> ディスカッション

3. 授業計画

1	基本操作、患者登録
2	初診、再診 医学管理 投薬
3	注射
4	検査
5	検査
6	処置
7	手術・麻酔
8	手術・麻酔
9	外来カルテ症例
10	外来カルテ症例
11	外来カルテ症例
12	外来カルテ症例
13	外来カルテ症例
14	外来カルテ症例
15	解答・解説

4. 評価方法

出席状況 授業態度 30% 期末テスト 70%

5. テキスト及び参考書

BASIC 問題集 医療点数早見表 カルテ症例

6. 実務経験の有無

あり (経歴 : 医療事務・医事課・診療録管理部門等の実務経験)

7. その他

特記なし

科目名	医事コンピューター	担当者	樋口 智美	クラス	期別
				2IM	後期

1. 教育目標

医事コンピューターの基本的操作と理解、正確な入力
医療事務コンピューター2級合格のためのスキルを身に付ける。

2. 授業内容

<input checked="" type="checkbox"/> 講義・演習 <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト、及びレセプト作成 <input type="checkbox"/> グループワーク・ペアワーク <input type="checkbox"/> ディスカッション

3. 授業計画

1	基本的操作
2	入院登録
3	入院登録
4	入院症例
5	入院症例
6	外来・入院症例
7	外来・入院症例
8	外来・入院症例
9	外来・入院症例
10	外来・入院症例
11	外来・入院症例
12	外来・入院症例
13	外来・入院症例
14	外来・入院症例
15	解答・解説

4. 評価方法

出席状況 授業態度 30% 期末テスト 70%

5. テキスト及び参考書

BASIC 問題集 医療点数早見表 カルテ症例

6. 実務経験の有無

あり (経歴 : 医療事務・医事課・診療録管理部門等の実務経験)

7. その他

特記なし

科目名	電子カルテシステム	担当者	樋口 智美	クラス	期別
				2IM	後期

1. 教育目標

電子カルテの基本操作と代行入力 電子カルテシステムに伴う用語を理解する

2. 授業内容

<input checked="" type="checkbox"/> 講義・演習 <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト、及びレセプト作成 <input type="checkbox"/> グループワーク・ペアワーク <input type="checkbox"/> ディスカッション

3. 授業計画

1	概論(SOAP)
2	電子カルテの基本操作方法
3	個人情報保護法・代行入力実技
4	安全管理・代行入力実技
5	病院情報システム運用管理・代行入力実技（診療情報提供書）
6	電子カルテとは・代行入力実技（診断書）
7	代行入力実技
8	テスト

4. 評価方法

出席状況 授業態度 30% 期末テスト 70%

5. テキスト及び参考書

テキスト（紙媒体）、スライド資料（電子媒体） BASIC 問題集 医療点数早見表

6. 実務経験の有無

あり （ 経歴 : 医療事務・医事課・診療録管理部門等の実務経験 ）

7. その他

特記なし

科目名	病院実習事前指導	担当者	片山 敏克	クラス	期別
				2IM	後期

1. 教育目標

- ・病院実習（2～3月に4週間実施）がイメージできる。
- ・病院実習に対する不足部分が理解でき、それを補完する学習を行うことで病院実習に対する不安の軽減が図れる。
- ・病院実習を振り返ることで、医療機関で働くという心構えや診療情報管理士に対するモチベーションの維持・向上が図れ、就職に向けて自己理解や自己覚知に繋げることができる。

2. 授業内容

病院実習に向けた準備が中心となります。経験者である先輩学生の情報などから病院実習を迫体験したり、グループワークや調べ学習を行うことで共同で学びを深めていき、実習に対する不安の軽減を図っていきます。※前期終盤に実習病院希望調査を実施済

3. 授業計画 ※実習病院決定状況により適宜順番を変更します

1	オリエンテーション（シラバスに沿って）、「病院実習要綱」の配布&読み合わせ①
2	「病院実習要綱」の読み合わせ②
3	「病院実習要綱」の読み合わせ③
4	「病院実習要綱」の読み合わせ④
5	「実習日誌」配布&「実習病院の概要」について（調べ学習）
6	「実習病院の概要」（完成）&「実習目標」について ※時間外課題あり
7	実習用履歴書作成（「実習目標」以外） ※時間外課題あり
8	実習用履歴書作成（「実習目標」を追加して清書） ※時間外課題⇒履歴書発送へ
9	「実習日誌」の書き方①
10	「実習日誌」の書き方②
11	先輩学生の病院実習報告会のスライド鑑賞（何を経験し何を学んできたか）
12	事前訪問アポイントメントについて（電話のかけ方）&実習定期券
13	病院実習に向けての不安と対策について（GW）
14	病院実習に向けて不足部分の対応①…お礼状の書き方、実習報告会など
15	病院実習に向けて不足部分の対応②…その他
病院実習 2/16（月）～3/13（金）	

4. 評価方法

- ・平常点（出席状況・授業態度） 30%
- ・提出物 70%

5. テキスト及び参考書

<配布資料>

- ・病院実習要綱
- ・実習日誌

6. 実務経験の有無

片山 敏克 あり（資格・職種：看護師（看護管理者研修終了）、健康福祉学修士）

7. その他

科目名	担当者	クラス	期別
キャリア教育Ⅱ	宮本恵実子	2IM	2年 後期

1. 教育目的

◎社会人として職業に就き、働き続けていく力を養う。(知識・技能・態度・応用)

- 1.社会における企業等組織や、働き方、労働法を知る。
- 2.職業を取り巻く環境や状況を知り、社会人に何が求められているのかを自分に引き寄せて考える。
- 3.学び気付いたこと、考えたことを自らの言葉で『言い表す・書き表す』ことができる。
- 4.「働く」ことおよび周辺課題や社会構造の概略を知り、学び考察したことを小論文にする。
- 5.意図を理解して“履歴書”を作成する。

2. 授業内容

1	オリエンテーション、職業観と勤労観
2	企業(会社)の組織、雇用の形態と待遇
3	日本の産業構造・人口構造・環境問題
4	日本の産業構造・人口構造・環境問題
5	日本の産業構造・人口構造・環境問題
6	小論文(調べ学習より) 口語体と文語体 小論文の書き方
7	小論文(調べ学習より)
8	履歴書を通したキャリア教育(実習を踏まえて)
9	履歴書を通したキャリア教育(実習を踏まえて)
10	履歴書を通したキャリア教育(実習を踏まえて)
11	履歴書を通したキャリア教育(実習を踏まえて)
12	面接を想定して:自己PRの深掘り(想定される質問・表現したい力)
13	「働くこと」と「労働法」
14	ライフステージから『キャリア』を考える
15	職業と自分が目指す生き方

4. 評価方法

- ・提出物、ワークに対する取組とグループに対する貢献 70%
- ・出席状況 30%

5. テキストおよび参考資料

「働くこと」と「労働法」(厚生労働省)

教科『職業とキャリア』(一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団)

その他

6. 実務経験等の有無 : 有り

- ・資格:2級キャリア・コンサルティング技能士(国家資格)
キャリア・コンサルタント(国家資格)、キャリアサポーター(TCE財団)
- ・実務経験:一般企業および教育機関内キャリアコンサルティング等

科目名	就職指導	担当者	肥後 美佐子	クラス	期別
				2IM	後期

1. 教育目標

- 自分が目指す職業を意識する。
- 医療機関の全体的な組織・機能・運営を理解し、授業で学んだこととの結び付けを行う。
- 就職するにあたり、社会人としての意識をつける。

2. 授業内容

- 学生の特性を把握し、就職先へ適材適所に配置するため個人面談を行う。
- 就職に向けての準備を行う。

3. 授業計画

1	オリエンテーション
2	報告・連絡・相談について
3	就活スケジュールの把握
4	施設・仕事内容の把握
5	社会人としてあるべき姿 個人面談
6	求人票の見方・求職票の書き方 個人面談
7	課題 個人面談
8	課題 個人面談

4. 評価方法

- 課題提出 70%
- 平常点（出席状況・授業態度） 30%

5. テキスト及び参考書

6. 実務経験の有無

あり

（ 診療情報管理士、ホスピタルコンシェルジュ3級、医事課・診療情報管理勤務・責任者業務 ）

7. その他